

主な出来事

EVENT

2022年10～12月

	三重・愛知	全国・海外
10月	●「F1日本グランプリ(GP)」が鈴鹿サーキット(鈴鹿市)で3年ぶりに開催。3日間の観客総動員数は2012年以来の20万人超えに。(10/7～9) ●名古屋テレビ塔「中部電力MIRAI TOWER(ミライタワー)」が全国のテレビ塔としては初めて国の重要文化財に指定。(10/12) ●半導体メモリー大手のキオクシアホールディングスの四日市工場第7製造棟が竣工。総投資額は1兆円規模。(10/26)	●政府は新型コロナウイルスの水際対策を大幅に緩和し、入国者数の上限を撤廃したほか、個人の外国人旅行者の入国を解禁。(10/11) ●東京外国為替市場の円相場は一時1ドル＝150円台まで下落し、約32年ぶりの円安水準を更新。(10/20) ●中国共産党第20期中央委員会第1回全体会議(1中全会)が開催され、党総書記(最高指導者)に習近平氏を選出。異例の3期目続投に。(10/23)
11月	●スタジオジブリの風景を再現したテーマパーク「ジブリパーク」が愛知県長久手市に開園。県は2023年度以降の経済効果を年480億円と試算。(11/1) ●桑名市の遊園地「ナガシマスパーランド」に隣接する農業テーマパーク「ナガシマファーム」がグランドオープン。(11/11) ●第3回ONSEN・ガストロノミーウォーキングin湯の山温泉が開催。約150名の参加者が6.5kmのコースをウォーキングし、観光、食、温泉を満喫。(11/23)	●米国で中間選挙が投開票され、下院は野党・共和党が4年ぶりに過半数を奪還。上院は与党・民主党が多数派を維持。(11/8) ●トヨタ自動車やNTTなど日本企業8社が出資して次世代半導体の量産を担う新会社「Rapidus(ラピダス)」を設立。(11/11) ●インドネシア・バリ島で開かれた20か国・地域首脳会議(G20サミット)が首脳宣言を採択して閉幕。宣言ではウクライナへの侵攻を続けるロシアを牽制。(11/16)
12月 フォーカス	●日本郵便が熊野市をドローン活用に向けたモデル地域に選定し、ドローンを使った郵便配達の実証実験を開始。(12/5) ●三重県内唯一のフルマラソン大会「みえ松阪マラソン」の第1回大会が松阪市で開催。県内外から約7,000人のランナーが参加。(12/18) ●愛知県は2050年に温室効果ガス排出量の実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ宣言」を発表。(12/26)	●政府は相手のミサイル発射拠点などをたたく「反撃能力」の保有を明記した安全保障関連3文書を閣議決定。(12/16) ●2022FIFAワールドカップ カタール大会が閉幕。アルゼンチンが36年ぶり3回目の優勝。日本はベスト16入り。(11/20～12/18) ●日銀が金融政策決定会合で大規模金融緩和を修正する方針を決め、従来±0.25%程度としてきた長期金利の変動許容幅を±0.5%に拡大。(12/20)

2023年1～3月の予定

	三重・愛知	全国・海外
1月 ～ 3月	●名古屋市営地下鉄4駅の駅名が変更。「中村区役所→太閤通」、「市役所→名古屋城」、「伝馬町→熱田神宮伝馬町」、「神宮西→熱田神宮西」に。(1/4) ●日本郵便は、郵便局員が地公体に代わって空き家の現状を確認する「空き家調査業務」を三重県玉城町で開始。同業務は日本郵便として初。(1/11) ●三重県営都市公園「鈴鹿青少年の森」がリニューアルオープン。ダイセーホールディングス(株)が命名権を取得し、愛称は「ダイセーフォレストパーク」に。(2月)	●高騰する電気・ガス料金に対する政府の負担軽減策による値下げが1月使用分から開始。2023年9月使用分まで(9月使用分のみ補助額は半減)。(1/1) ●スイスのダボスにおいて世界経済フォーラム年次総会(ダボス会議)が開催。テーマは「分裂された世界における協力」。(1/16～20) ●処方箋を電子化して医師と薬局がオンラインでデータを共有する「電子処方箋」の運用開始。患者の服薬情報を医師や薬剤師が簡単にチェック可能に。(1/26)

フォーカス

三重県内唯一のフルマラソン大会「みえ松阪マラソン」の第1回大会開催

三重県内唯一のフルマラソン大会「みえ松阪マラソン」の第1回大会が2022年12月18日に開催されました。フルマラソンには全国から6,584人(速報値)が参加し、制限時間が7時間と長めに設定されたことから完走者は6,417人(完走率97.5%)と、出場者のほぼ全員が完走することができました。ランナーに加えてボランティアや沿道の応援を合わせると約7万人が集まり、市政史上最大のスポーツイベントとなりました。

県内において、過去には東員町がフルマラソンを開催していたものの、2002年に終了し全国では三重県と福井県のみフルマラソン大会がないことから、2015年10月に市長に就任した竹上真人松阪市長は、同年12月にフルマラソン実現の構想を打ち出していました。2020年に初開催の予定だったものの、コロナ禍で2年連続の延期に見舞われ、ようやくの開催となりました。